

私とロータリー

寄稿

私が岡崎ロータリークラブに入会させていただき、早いもので22年が経過しました。多くの皆さんが多分そうであるように、ロータリークラブに対して何の知識もないままでの入会でした。

岡崎ロータリークラブ 情報委員長

村井 忠

と国民の祝日以外に休会卓話を拝聴し、帰宅するはなく、例会の変更もあことこの繰返しでした。私にとってロータリーメンバーの方々が例会場かみも大みそかも例会は開反して、メンバーに新旧さんとの交流にありま「風格あるクラブ」とはた。メンバーは岡崎市のいとした雰囲気は今も続入会させていたただかなく何なのかを示してゆくので、有名人がずらりと顔をそいております。そうしたてはお会いし、お話をさも在籍年数の長くなつた素晴らしい先輩方に少しせていただくことの無い私の努めの一つかなと思

目標は「和やかで風格あるクラブ」

います。
故佐藤

千壽大先

す、若輩者の私には話をつつお声を掛けていたただ方々との出会いこそが、輩のお言葉「ロータリーをするのものはばかれる気がくようになり、入会3年私を今日まで毎週水曜日には奉仕団体ではない。奉目になると少し余裕も出になると例会場へ足を向仕する人の団体である」

来、クラブの厳格さも私けさせる原動力となつてをいつも頭の片隅に、ロータリー生活をこれから

間、若輩者の私には話をつつお声を掛けていたただ方々との出会いこそが、輩のお言葉「ロータリーをするのものはばかれる気がくようになり、入会3年私を今日まで毎週水曜日には奉仕団体ではない。奉目になると少し余裕も出になると例会場へ足を向仕する人の団体である」

ねながら、あつというくなくなりになったり、退会ころです。



入会当時は正月3が日